

ファッション●
季節のはざまに
着たい服

南仏生れの布で
夏の手作り
全点作り方つき

厳選40点 東京の
手みわけ

スパイス香る
夏カレー

熊谷喜八、孫 成順

リビング●
週末ハウスのすすめ

避暑地の夏休み

旅●那須・二期倶楽部／奥湯河原・海石榴／葉山・SCAPES／伊豆・arcana izu／
箱根・富士屋ホテル、ハイアットリージェンシー 箱根リゾート&スパ

八ヶ岳高原音楽堂の20年／伊藤まさこさんの安曇野ちひろ美術館

時計特集●輝く時間／幸せな時を刻む、腕時計

藤田嗣治の楽しい生活

ビューティ●夏の美髪ケア 頭皮&ヘアケアならこのサロン

「子どもの絵を糸と針の作品に」A、B部門入選発表／武満真樹×井上陽水／
絵●和田 誠 文●椎名 誠／絵●横尾忠則 文●梨木香歩／藤原美子



奥湯河原 海石榴 〈つばき〉

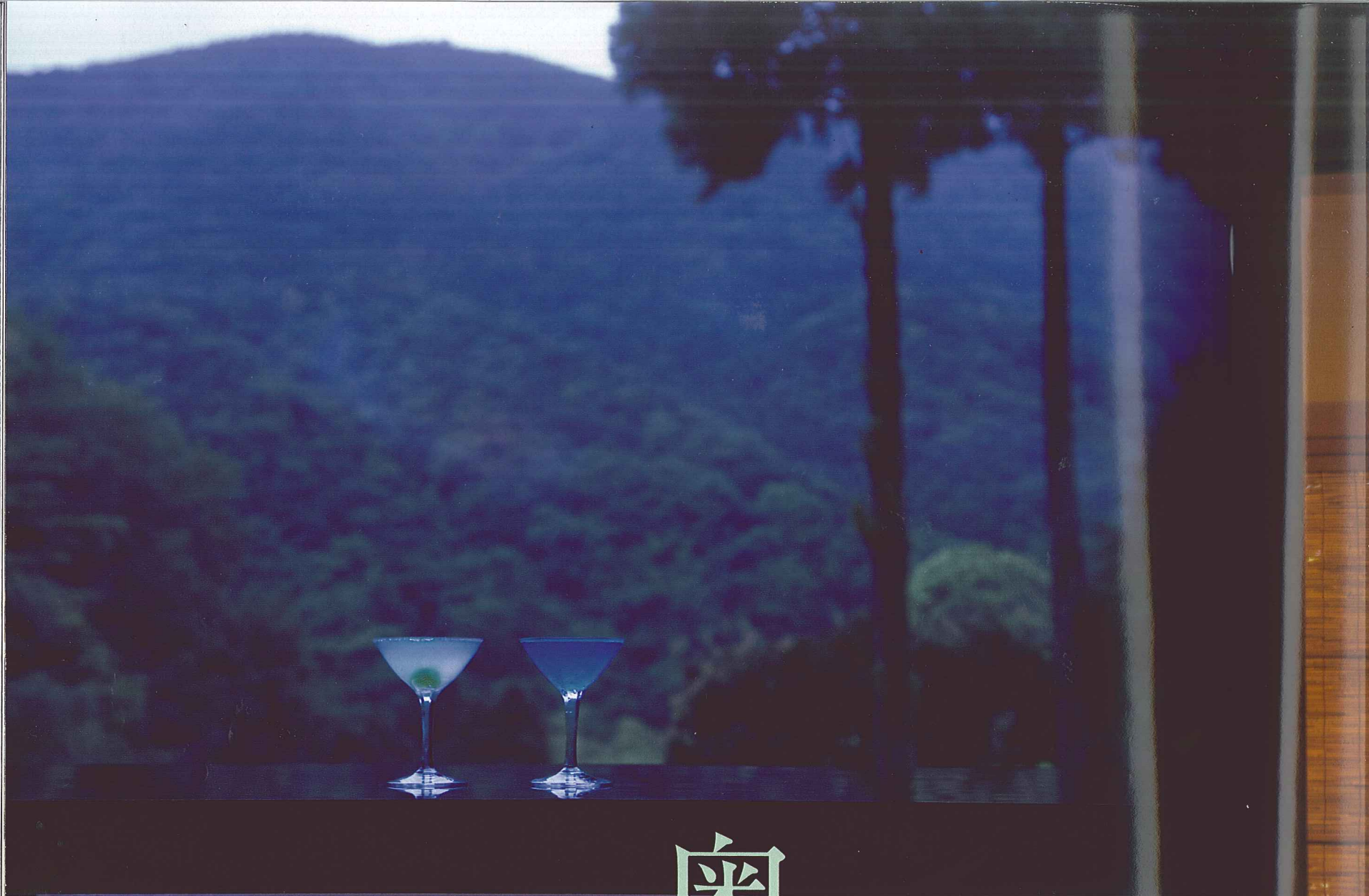
湯上りを 夏座敷で

古くは万葉集にも詠まれたという歴史ある湯河原温泉。東南に風光明媚な相模湾を望み、三方を箱根の山に抱かれ、四季を通じて自然豊かな表情で訪れる人を迎えてくれる。とりわけ早春の山を彩る五〇〇本の椿はこの地ならではの。奥湯河原温泉で名宿として知られる「海石榴」は、椿を愛する主人が万葉文字の中から見つけて屋号とした。昭和五三年創業。

当時、熱海や湯河原は宴会でにぎわう大型旅館が主流だったのに対し、「一人一人のお客さまをもてなす宿」と誕生。杉の植林で深い森のようだった山の傾斜地は、自宅で育てていた二〇〇本の椿をはじめ、紅葉や梅などの落葉樹に植え替えられ、明るい自然林となって鳥が遊び、夏は藤木川の瀬音涼しく、澄んだかじかの声もして。宿に着いたら明るいうちにまず湯あみとしゃれてみたい。この秋三〇周年を迎える「海石榴」では、客室に洋間や専用の露天風呂を設けたり、スパを新設するなど新しい魅力が生まれていた。

右は簾戸越しの緑が美しい夏座敷。湯上りの素足に畳の感触も気持ちよく、熊いす、夏座ぶとん……日本の夏を満喫する。夏座敷は5月末から9月いっぱいまで。上は、暮れなずむひとときをバーで。開放的な窓に広がる山から霧が晴れていく。





湯上りを 夏座敷で

古くは万葉集にも詠まれたという歴史ある湯河原温泉。東南に風光明媚な相模湾を望み、三方を箱根の山に抱かれ、四季を通じて自然豊かな表情で訪れる人を迎えてくれる。とりわけ早春の山を彩る五、〇〇〇本の椿はこの地ならではの。奥湯河原温泉で名宿として知られる「海石榴」は、椿を愛する主人が万葉文字の中から見つけて屋号とした。昭和五三年創業。

奥湯河原 海石榴 （うみざくら） のんびり、ゆったり

当時、熱海や湯河原は宴会でにぎわう大型旅館が主流だったのに対し、「一人一人のお客さまをもてなす宿に」と誕生。杉の植林で深い森のようだった山の傾斜地は、自宅で育てていた二〇〇本の椿をはじめ、紅葉や梅などの落葉樹に植え替えられ、明るい自然林となって鳥が遊び、夏は藤木川の瀬音涼しく、澄んだかじかの声もして。宿に着いたら明るいうちにまず湯あみとしゃれてみたい。この秋三〇周年を迎える「海石榴」では、客室に洋間や専用の露天風呂を設けたり、スパを新設するなど新しい魅力が生まれていた。

右は鎌戸越しの緑が美しい夏座敷。湯上りの素足に畳の感触も気持ちよく、簾いす、夏座ぶとん……日本の夏を満喫する。夏座敷は5月末から9月いっぱいまで。上は、暮れなずむひとときをバーで。開放的な窓に広がる山から霧が晴れていく。



1.今回30周年に向けて改装した客室のテラス。本を読んだりヨガをしたり。2.椿や紅葉に迎えられる入り口。3.客室専用新設された露天風呂。ゆったりとした檜の風呂で、十和田石のブルーが美しい。24時間利用可能。4.床の間のしつらい。5.新設されたスバ「ichirin」。その日の体調に合わせてメニューを組み立てるオーダーメードで、カリタを使用したフェーシャルトリートメントをはじめ、温かな椿オイルを顔に受けるシロダラは、精神を解き放つ深いリラクゼーションが体験できる。6.寝室もフローリングに改装し、ベッドを採用。7.スパでは黒砂糖入りジンジャーティーと塗香でリラックス。

海石榴(つばき)

数寄屋風建築で、本館と迎賓館がある。
 室料:1室2名、1名42,150円(和・洋室露天風呂つきは49,500円)~62,100円、
 スイートルーム(迎賓館)56,850円~94,650円
 (朝、夕食つき、税・サービス料込み、3~5名以上の利用可能)。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
 ☎0465-63-3333 <http://www.tubaki.net>



左上は、やまもの食前酒とともに、前菜は、かますの一口すし、新選サーモン、煮ごりなど。左下は、はもの落としと焼きなすのお椀。右上は、熊笹をいぶした香りに包まれた鮎の塩焼き。香ばしい皮の中からふっくらとした白い身がはじけ、香り広がる。煮物はたこ、うど、だつ芋の炊合せ。

〈湯河原みちくさMap〉

芦ノ湖を一望できる大観山は横山大観が富士山を描いた場所、紅葉の里は新緑美しいハイキングコース、足が疲れたら独歩の湯で。人気の足湯施設です。「のんびりと足をのばして楽しませてはいかがでしょう(女将)」



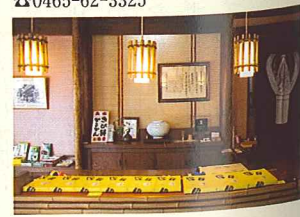
懐石「海石榴」

本館では日帰りでも料理と温泉を楽しむことができる。昼席2名以上1室、1名21,000円から、夕席2名以上1室、1名31,500円から(各税・サービス料込み)。入浴料1名1,050円。
 ●12時~15時、14時半~21時。無休。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
 ☎0465-63-3333(宿泊兼用)
 また、本館にあるショップでは陶磁器や漆器、便箋、お菓子などを扱っている、お土産探しに。手揚げかごに茶道具をコンパクトに仕組んだ野点セット15,750円、椿の漆絵がワンポイントのお盆1枚2,300円、餅菓子「湯あがり」も。

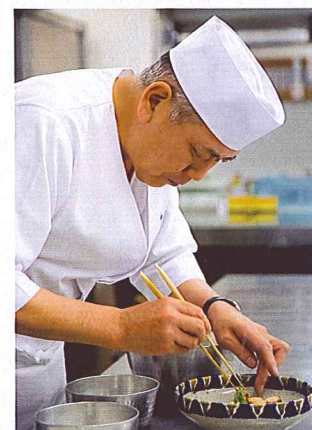


小梅堂

湯河原土産、きび餅はこの店から。「和菓子屋の娘だった先代のおばあちゃん、子どものおやつに作ったのが始まり」というのは3代目主人。きび粉と白玉粉を混ぜてふかした餅にきな粉をまぶした素朴な味わい。ほんのり甘く、添加物なし、国産大豆のきな粉の香りがとてもいい。16個入り756円から。かるかんまんじゅうや二色だんごも人気。
 ●7時~17時半。木曜休み。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上483
 ☎0465-62-3325



を境に秋が忍び寄る。鮎は熊笹でいぶされて野趣豊かに供され、やがて手持ちになって煮びたしに。日本料理が洋風化したり変化していく傾向を感じながら、日本料理のよさをわかってもらえたらと、基本を大切に料理を変えたい。それは毎日食べても飽きないおいしいさだ。お客さまの半分はリピーターという高い信頼性。若いカップルたちも「一日心のぜいたくに」とやって来るといふ。つきあうほどに居心地がよくなるとすれば、それは創業当時の心のもてなしが今も生きているからだろう。



「おなかにとんとこなくて、目にも楽しいものを」と五十嵐さん。右は、八寸風に少しずつと、うすい(えんどう豆)の養老豆腐。随うどんは定番の一品で、地元ではべらべらうどんと呼ぶさしみん状のめんを、そばつゆと冷や麦の中間のようなつゆでいただく。左は、創業当初から好評の白がゆ。ほかにも干物や炊合せなどの充実ぶり。

美味の宿として飽きない味

何もしない、ただのんびりするだけという旅にあつては、食事のハードルは高い。創業時より女将と一緒に全国をめぐる「海石榴」の味を作ってきたのが、総調理長の五十嵐忠則さんだ。「山間の自然に包まれて味わっていただく料理です。奇をてらったものはいらない、旬を素直においしく届けたい」鮎の風干しの飯蒸しなど、ほんの一口でいい、口に含むとその瞬間に初夏を感じる。そしてお盆





1.今回30周年に向けて改装した客室のテラス。本を読んだりヨガをしたり。2.椿や紅葉に迎えられる入り口。3.客室専用に新設された露天風呂。ゆったりとした檜の風呂で、十和田石のブルーが美しい。24時間利用可能。4.床の間のしつらい。5.新設されたスパ「ichirin」。その日の体調に合わせてメニューを組み立てるオーダーメードで、カリタを使用したフェーシャルトリートメントをはじめ、温かな椿オイルを顔に受けるシロダラは、精神を解き放つ深いリラクゼーションが体験できる。6.寝室もフローリングに改装し、ベッドを採用。7.スパでは黒砂糖入りジンジャーティーと塗香でリラックス。

海石榴 (つばき)

数寄屋風建築で、本館と迎賓館がある。
 室料:1室2名、1名42,150円(和・洋室露天風呂つきは49,500円)~62,100円、
 スイートルーム(迎賓館)56,850円~94,650円
 (朝、夕食つき、税・サービス料込み、3~5名以上の利用可能)。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
 ☎0465-63-3333 <http://www.tubaki.net>

〈湯河原みちくさMap〉

芦ノ湖を一望できる大観山は横山大観が富士山を描いた場所、紅葉の里は新緑美しいハイキングコース、足が疲れたら独歩の湯で。人気の足湯施設です。「のんびりと足をのばして楽しみたいはいかがでしょう」(女将)



懐石「海石榴」

本館では日帰りでも料理と温泉を楽しむことができる。昼席2名以上1室、1名21,000円から、夕席2名以上1室、1名31,500円から(各税・サービス料込み)。入浴料1名1,050円。
 ●12時~15時、14時半~21時。無休。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上776
 ☎0465-63-3333(宿泊兼用)
 また、本館にあるショップでは陶磁器や漆器、便箋、お菓子などを扱っているので、お土産探しに。手提げかごに茶道具をコンパクトに仕組んだ野点セット15,750円、椿の漆絵がワンポイントのお盆1枚2,300円、餅菓子「湯あがり」も。



小梅堂

湯河原土産、きび餅はこの店から。「和菓子屋の娘だった先々代のおばあちゃんが、子どものおやつに作ったのが始まり」というのは3代目主人。きび餅と白玉粉を混ぜてふかした餅にきな粉をまぶした素朴な味わい。ほんのり甘く、添加物なし、国産大豆のきな粉の香りがとてもいい。16個入り756円から。かるかんまんじゅうや二色だんごも人気。
 ●7時~17時半。木曜休み。
 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上483
 ☎0465-62-3325

